

おおさかマイボトルパートナーズへの参加基準の設定について

1. 現状・課題

- ・令和 2 年 3 月に本パートナーズをキックオフしたところ、設立当初の 18 団体から 29 団体まで増加。今後も増加していく見込み。
 - ・パートナーズメンバー以外の事業者等からもパートナーズへの参加の相談があり、設立趣旨等を説明し、相談事業者の取組内容を確認した上で、事務局で参加の可否について判断。
- ⇒ 現メンバーは既にマイボトルの普及活動の広がり意識して取り組んでいただいているところ。
今後、参加を希望する事業者等の皆様についても、活動の広がり確認した上で参加いただきたい

2. 参加基準の設定に関するアンケートの実施

参加基準（案）の設定について、令和 3 年 2 月 2 日付けで事務局より実施したアンケートの結果は以下のとおり。

<R3.2.2 事務局提示の参加基準（案）>

- (1) 反社会的勢力でないこと
- (2) おおさかマイボトルパートナーズ設立の趣旨を理解し、プラスチックごみの削減に努めていること
- (3) 様々な立場、特徴や考え方を持つ会員が、多様なアイデアを持ち寄り、取組の可能性を広げる場であることを理解すること
- (4) 「マイボトルの利用啓発」、「給水スポットの普及」、「効果的な情報発信」のうち少なくとも一つに取り組むこと
- (5) 自社内での取組に限らず、対外的にマイボトルの普及のための取組みを広げること
- (6) 通常の事業等活動に加え、パートナーズの趣旨に合致した新たな取組についても検討、実施すること（ただし、内容や時期について制約するものではない）

Q1. マイボトルパートナーズの参加基準の設定について

賛成	反対
28	0

Q2. 事務局提案の参加基準（案）に対する意見

意見なし	意見あり	未回答
25	2	1

<「意見あり」と回答いただいた方のご意見>

- ・（5）（6）については強制力が強く、この会議体に参加するだけでも意義がある。
- ・参加基準案の（4）の 3 つのうち、どれかを必ず一つ、毎年実施する事を義務付けした方がよい。

<参加基準（案）以外に追加すべき項目として頂いたご意見>

- ・既に取り組みを始めている企業・団体等に対してパートナーズへの登録を働きかける施策として、参加基準の策定以外に、現会員からの紹介・推薦等を促す方策もあるとより良い。